

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 国産電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6992 URL <http://www.kokusandenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小塚 潔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長 (氏名) 平井 政延

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 055-921-5930

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第3四半期 | 11,563 | △27.1 | △578 | — | △493 | — | △285 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 15,863 | — | 19 | — | 109 | — | 111 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | △19.21 | — |
| 21年3月期第3四半期 | 7.49 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-----|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第3四半期 | 14,096 | | 8,320 | | 58.4 | 553.15 |
| 21年3月期 | 12,999 | | 8,335 | | 63.3 | 553.26 |

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,226百万円 21年3月期 8,231百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 |
| 22年3月期 | — | 4.00 | — | | |
| 22年3月期 (予想) | | | | 4.00 | 8.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|------|---|------|---|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 16,380 | △14.3 | 60 | — | 120 | — | 80 | 370.6 | 5.38 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 14,950,000株 21年3月期 14,950,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 78,227株 21年3月期 72,236株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 14,874,226株 21年3月期第3四半期 14,880,310株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産活動については徐々に回復傾向がみられるものの、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷等、経済情勢は不透明な状態が続いております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、一部の製品の受注に回復傾向がみられるものの、それ以外の製品につきましては顧客の生産調整が10月以降も引き続き行われていることが大きく影響し、その結果、売上高は115億63百万円（前年同期は158億63百万円）となりました。利益面につきましては、引き続きコストダウンに努めてまいりましたが、売上高の減少と工場の稼働率が低下したことにより、営業損失5億78百万円（前年同期は営業利益19百万円）、経常損失4億93百万円（前年同期は経常利益1億9百万円）、四半期純損失2億85百万円（前年同期は四半期純利益1億11百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が140億96百万円となり、前連結会計年度末129億99百万円に比べ10億96百万円の増加となりました。流動資産につきましては、売上高の回復に伴い受取手形及び売掛金が10億85百万円増加致しましたが、現金及び預金1億8百万円、関係会社預け金(株日立製作所プーリング制度)83百万円等の減少により、8億94百万円の増加となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が5億1百万円減少致しましたが、株価回復傾向による投資有価証券6億24百万円の増加等により、2億2百万円の増加となりました。

負債の部につきましては57億75百万円となり、前連結会計年度末46億63百万円に比べ11億12百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金8億70百万円・長期前受金4億85百万円等の増加、賞与引当金2億61百万円等の減少によるものです。

また、純資産の部につきましては83億20百万円となり、前連結会計年度末83億35百万円に比べ15百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が4億4百万円減少し、その他有価証券評価差額金が3億89百万円増加していることによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は5億2百万円となり、前連結会計年度末比1億91百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは76百万円の資金増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失4億33百万円を計上し、売上債権が10億85百万円増加、賞与引当金が2億61百万円減少したものの、減価償却費7億83百万円の計上、仕入債務8億70百万円、長期前受金4億85百万円等が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億55百万円の資金減少となりました。これは主に電装品生産ライン構築等の設備投資による支出2億28百万円と、投資有価証券の売却による収入73百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億12百万円の資金減少となりました。これは主に配当金の支払1億11百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年4月28日に発表した業績予想を修正せず据え置いておりますが、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

なお、期末の配当につきましては、公表しております通り一株あたり4円の配当を予定しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 294 | 402 |
| 関係会社預け金 | 207 | 290 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,714 | 3,629 |
| 商品及び製品 | 596 | 571 |
| 仕掛品 | 952 | 1,003 |
| 原材料及び貯蔵品 | 201 | 196 |
| 繰延税金資産 | 326 | 326 |
| その他 | 223 | 200 |
| 流動資産合計 | 7,516 | 6,622 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 974 | 1,025 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,922 | 2,272 |
| 土地 | 842 | 844 |
| リース資産（純額） | 175 | 294 |
| 建設仮勘定 | 202 | 125 |
| その他（純額） | 170 | 227 |
| 有形固定資産合計 | 4,287 | 4,788 |
| 無形固定資産 | 83 | 80 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,832 | 1,208 |
| その他 | 380 | 305 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 投資その他の資産合計 | 2,208 | 1,508 |
| 固定資産合計 | 6,579 | 6,377 |
| 資産合計 | 14,096 | 12,999 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,951 | 3,081 |
| リース債務 | 105 | 151 |
| 未払法人税等 | 10 | 48 |
| 賞与引当金 | 196 | 457 |
| その他 | 568 | 500 |
| 流動負債合計 | 4,831 | 4,240 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 71 | 147 |
| 繰延税金負債 | 349 | 233 |
| 長期前受金 | 485 | — |
| その他 | 37 | 42 |
| 固定負債合計 | 944 | 423 |
| 負債合計 | 5,775 | 4,663 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 747 | 747 |
| 資本剰余金 | 410 | 410 |
| 利益剰余金 | 6,088 | 6,493 |
| 自己株式 | △20 | △19 |
| 株主資本合計 | 7,226 | 7,632 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,009 | 620 |
| 為替換算調整勘定 | △10 | △22 |
| 評価・換算差額等合計 | 999 | 598 |
| 少数株主持分 | 94 | 104 |
| 純資産合計 | 8,320 | 8,335 |
| 負債純資産合計 | 14,096 | 12,999 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 15,863 | 11,563 |
| 売上原価 | 14,028 | 10,619 |
| 売上総利益 | 1,834 | 943 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,815 | 1,522 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 19 | △578 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 1 |
| 受取配当金 | 28 | 20 |
| 持分法による投資利益 | 62 | 74 |
| 雇用調整助成金 | — | 91 |
| 雑収入 | 15 | 13 |
| 営業外収益合計 | 108 | 202 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 0 |
| 債権譲渡手数料 | 6 | 0 |
| 為替差損 | 8 | 3 |
| 休業手当 | — | 113 |
| 雑支出 | 1 | 0 |
| 営業外費用合計 | 18 | 117 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 109 | △493 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 18 |
| 負ののれん償却額 | 19 | — |
| 有価証券売却益 | — | 52 |
| 特別利益合計 | 19 | 70 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7 | 10 |
| 有価証券評価損 | 2 | — |
| 特別損失合計 | 10 | 10 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 118 | △433 |
| 法人税等 | 5 | △144 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 1 | △2 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 111 | △285 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 118 | △433 |
| 減価償却費 | 969 | 783 |
| 負ののれん償却額 | △21 | — |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △266 | △261 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △141 | — |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △99 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 0 | 0 |
| 受取利息及び受取配当金 | △30 | △22 |
| 支払利息 | 1 | 0 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △62 | △74 |
| 投資有価証券売却益(△は益) | — | △52 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | — | △18 |
| 投資有価証券評価損 | 2 | — |
| 有形固定資産除却損 | 7 | 10 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 607 | △1,085 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 176 | 21 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △46 | △19 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △898 | 870 |
| 長期前受金の増減額(△は減少) | — | 485 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 84 | △43 |
| その他の固定負債の増減額(△は減少) | — | △81 |
| 小計 | 402 | 79 |
| 利息及び配当金の受取額 | 56 | 39 |
| 利息の支払額 | △1 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △107 | △42 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 349 | 76 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 子会社株式の取得による支出 | △1 | — |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 25 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △644 | △228 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △3 | △5 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △13 | △14 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △0 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 73 |
| その他投資の取得による支出 | △2 | △6 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △665 | △155 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △2 | △1 |
| 配当金の支払額 | △119 | △107 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △3 | △3 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △124 | △112 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △440 | △191 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 946 | 693 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 505 | 502 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

・偶発債務

当社の製品の一部に不具合が発生し、今後補修のための損失が発生する見込みであります。現時点においては、損失額が未確定であり、従いまして当連結会計年度の損益に与える影響額を算定する事は困難な状況であります。